

東大まちづくり大学院 公開講座

都市・地域政策の構想と展開

「小布施 挑戦と共創のまちづくり」

大宮 透 (おおみや とおる)

小布施町長 (長野県)



■開催概要

東大まちづくり大学院(都市持続再生学コース)は、2007年10月の創設以来、学術と実務の融合を一つの目標として、都市に関連する様々な政策課題について知見を深め、多くの調査・研究を進め、政策提案や情報発信を随時行ってきた。本科目(「都市・地域政策の構想と展開」)は、国の省庁や自治体のトップおよびその経験者が、都市・地域政策の着想や展開についてシリーズで講義するものであり、その一部を公開講義として開催する。

■開催日時

2025年7月18日(金) 18時40分～ (休憩・質疑含めて2～3時間程度を予定)

■開催方法

一般参加者はZoomにて参加いただけます。事前登録していただいた方にお知らせします。

■申込方法

事前登録制です。以下のリンクまたはQRコードから、Googleフォームにて必要事項を書き込んで申し込んでください。

<https://forms.gle/rMdgUXbpbbeKaivPr9>

※申し込みが定員に達した場合は、締め切らせて頂く場合がございます。

※参加費は無料です。



■講師略歴

- 1988年山形県生まれ、群馬県高崎市出身。
- 東京大学大学院工学系研究科修了(都市工学修士)。大学院在学中の2013年に小布施町に拠点を移し、法政大学・小布施町地域創造研究所(現・慶應SDM・小布施町ソーシャルデザインセンター)の主任研究員として長野県内外で地域づくりの仕事をはじめ。
- 地域内外の様々なアクターの協働を推進し、新しいプロジェクト構想のコーディネーター・ファシリテーターとして活動。小布施では、特に都会の若い世代をターゲットにした小布施若者会議やHLAB OBUSEなどの取り組みを仕掛け、人口1万1000人の町に多様な若者が集う環境づくりを推進。
- 2020年4月より小布施町役場に入庁。総務課長、企画財政課長として、防災まちづくりや環境政策の推進、行政改革等に従事。2025年1月22日より現職。